

日 本 史

(問 題)

2011年度

〈2011 H23053324〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に、ていねいに記入すること。
記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄には氏名のみを記入すること。

受験番号は正確に、ていねいに記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムで、ていねいに、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	◎ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	◎ 悪い	○ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔I〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

日本文化・社会の基盤を構成する水稻耕作は、おそくとも縄文時代の晩期後半期には日本列島に到来していたことが判明している。まず九州北部に根をおろし、やがて瀬戸内を経て近畿地方まで拡大し、さらに東海地方を経て東日本へと拡大した。その間に沖積平野に多くの水田が形成され、それまで狩猟・採集・漁労に依存した生業活動の構造に大きな変革をもたらした。やがて、それは弥生時代の中に継承され発展し、以来1000年間に、縄文時代からの文化と社会は大きく変化した。各地に環濠集落という溝で囲まれた集落や高地性集落が造られた。小高く築造した A や方形周溝墓が各地で造営されたことから、社会が複雑化し階層化が進行したことがわかっている。

この頃の弥生時代の日本について中国の史書『魏志』倭人伝に記載があり、考古学の記録を補足することが出来る。すでに部族社会を脱した弥生時代中期以降には、地域ごとに「クニ」と称される首長国を基盤とした政治権力が発生し、覇を競って地域間で戦闘を繰り返していたと考えられる。中国や朝鮮系統の鏡や金属器が有力者の手にわたり、社会的地位のシンボルとして扱われた。女王卑弥呼の時代は、まさにそのような動乱の時代であった。江戸時代に筑前国志賀島で発見された金印は、中国の冊封体制下にあった東アジアの中での弥生社会の位置づけを端的に物語っている。

〔問〕

- 1 下線 a に合致する九州北部の遺跡について、次の遺跡から誤ったものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 葉畑遺跡 イ 板付遺跡 ウ 曲り田遺跡 エ 野多目遺跡 オ 津島江道遺跡
- 2 下線 b の具体的な内容について、次の文中から正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 立地が標高1000メートル以上の遺跡に限られる。
イ 土塁や石垣で囲まれた防御的な施設である。
ウ 一般的な居住施設ではなく、戦闘などの非常時に備えた施設だと考えられる。
エ 大阪平野を中心に近畿地方に限定される。
オ 自給的で他の遺跡との関連がなく独立した施設である。
- 3 空欄 A に当てはまる墓制の語句は何か。漢字3字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 4 下線 c のうち、卑弥呼とその社会に関する記載内容について、次から正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 弥生時代後期の社会は、まだ富や身分差のない平等社会である。
イ 政治や社会に関する記載はあるが、風俗・習慣に関する記載はほとんどない。
ウ 卑弥呼が首長の代表として共立された後、すべての在地首長が彼女に従属した。
エ 卑弥呼は自ら労働することではなく、鬼道（呪術）を行い、まつりごとに専念した。
オ 魏の皇帝から直接「親魏倭王」の印綬を下賜された。
- 5 下線 d の首長国の政治経済として誤ったものを次から1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 首長の権力には強い霊性が宿り、神聖さで包まれる。
イ 政治の補佐役は親族などの血縁者よりも、むしろ外部から登用されることが多く、親族組織からは支援を受けない。
ウ 政治権力の基盤が脆弱で、兄弟などの肉親間で政権闘争が頻繁に起り、政権が移動しやすい。
エ 経済的富と並んで、あるいはそれ以上に威信財が社会的に重要な位置を占める。
オ 首長間には序列化が進み、雛壇形の上下構造をとることが一般的である。
- 6 下線 e が魏の皇帝より下賜された品物の中で、次から誤ったものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 織物 イ 印綬 ウ 刀 エ 冠 オ 銅鏡

7 下線 f の内容について、次から誤ったものを 1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

- ア 寸法や法量など、古代中国の印璽制度に則したもので、偽物ではない。
- イ 蛇紐の金印は他の国でも発見されている。
- ウ 金印は倭国王に下賜したものである。
- エ 金印を贈与したとの記載は『後漢書』東夷伝にある。
- オ 金印は建武中元に光武帝から下賜されたものである。

〔Ⅱ〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

奈良・平安時代は、律令にもとづく官僚制が構築されるとともに、その変容・解体の時代であったとも言われている。そして、この時代には、複数の有力な氏族集団が指導的地位を確保していたが、また、その編制にも様々な組み換えと盛衰がみられた。そのなかにあつて、橘氏は、遅れて参加した氏族集団であつた。

橘氏は、県犬養 **A** が橘宿禰を賜姓され、その子の **B** らに、この賜姓が継承されたことにはじまる。**A** は、**C** の妻となり、光明子を生んだが、**B** と光明子とは、父を異にする兄妹の間柄であつた。また、白鳳期の代表的な金銅仏である法隆寺伝来の **D** は、**A** の念持仏であつたと言われている。

その後、**B** の子である橘奈良麻呂は、藤原仲麻呂を ^aしりぞけようとして失敗し、逆に滅ばされてしまった。これを契機に、橘氏の勢力は後退した。しかし、^b嵯峨天皇の皇后が橘氏出身であつたことから、橘氏は名族としての地位を確立するかにみえた。ところが、^c嵯峨上皇の死の直後におきた政変で、伴（大伴）健岑らとともに橘逸勢がしりぞけられた。このことに象徴されるように、藤原北家の勢力が拡大し、強化される過程のなかで、橘氏は次第に地位を低下させ、10世紀末以降、公卿となる者はいなくなったのである。

〔問〕

- 1 空欄 A に当てはまる名は何か。記述解答用紙の解答欄に漢字 3 字で記入しなさい。
- 2 空欄 B に当てはまる王名はどれか。マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 長屋王 イ 美努王 ウ 高望王 エ 葛城王 オ 以仁王
- 3 空欄 C の人物に関する説明で誤っているものはどれか。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 大宝律令の制定に参画した。
イ 聖武天皇の祖父に当たる。
ウ 養老律令の編纂に参画した。
エ 父は、もと中臣姓であつた。
オ 三世一身法を施行した。
- 4 空欄 D に当てはまる語句はどれか。マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 阿弥陀三尊像 イ 夢違観音像 ウ 聖観音像 ~~エ~~ 薬師三尊像 ~~オ~~ 釈迦三尊像
- 5 下線 a の人物は、橘奈良麻呂の死後に改名するが、その時の天皇はだれか。記述解答用紙の解答欄に漢字 2 字で記入しなさい。
- 6 下線 b の人物が在位中におこなったことは何か。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
ア 檢非違使を廃止した。
イ 藏人頭を設けた。
ウ 大宰府管内の公営田を廃止した。
エ 畿内に官田を設けた。
オ 遣唐使派遣を廃止した。

- 7 下線 c は何と呼ばれているか。記述解答用紙の解答欄に漢字 2 字で記入しなさい。
- 8 下線 c に関する説明で正しいものはどれか。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 藤原冬嗣が深く関与していた。
- イ 空海が追放された。
- ウ 藤原良房が深く関与していた。
- エ 源高明が左遷された。
- オ ほぼ10年後に阿衡の紛議（事件）がおこった。

〔Ⅲ〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

古代から広がりを見せた **A** 信仰は、中世に入ると一層深く社会に受け入れられるようになった。東大寺を復興した重源は南無阿弥陀仏と称し、**A** 教に深く帰依していたことでも知られる。彼は播磨国大部荘に **A** 寺を建立したが、そこに作られた阿弥陀堂には東大寺南大門と同様に大仏様という建築様式が用いられていた。一方で、彼は密教も深く信仰しており、鎌倉時代の仏教はきわめて複雑である。重源が登用した仏師として運慶と快慶が知られるが、快慶は、東大寺南大門の勇壮な金剛力士像を分担製作する一方で、**B** 様と呼ばれる美しい阿弥陀如来像等の仏像を刻したことで知られる。重源に大きな影響を及ぼした法然は、当初延暦寺で修行をしていたが、次第に **A** 教に深く帰依するようになり、やがて **A** 宗の開創を目指すようになった。その教えは、九条兼実をはじめとする貴族や熊谷直実などの武士にも及んだ。法然の教えを継承した親鸞は、阿弥陀仏の救いを信じる心を起こすだけで極楽往生できると説く絶対他力を称え、悪人正機説を立て、武士や農民の多くの帰依を得て、**A** 真宗と呼ばれる教団の基礎を築いていった。

このように、中世において **A** 教が広がる一方、大陸との交流を通じて禅宗が武士層の厚い帰依を受けて広まることとなった。中国では **A** 教と禅宗の融合が見られるが、日本においてはむしろその相違が鮮明となっていた。栄西が南宋から臨済宗を伝えたのを契機として、上層武士の間でその教えが広まり、高名な禅僧を受け入れて鎌倉に規模の大きな寺院が次々と建立されると、各地の守護や有力地頭も相次いで、禅僧を招いて寺院を建立した。また、禅宗は貴族層にも広まり、幕府との連携を保って閑白となった九条道家は東福寺を建立した。この寺は東大寺と興福寺を範とした大寺院であった。鎌倉時代後期の代表的な臨済僧である夢窓疎石は、後醍醐天皇、北条高時の帰依を受け、さらに足利尊氏の求めに応じて後醍醐天皇の菩提を弔う **C** の開山となった。室町幕府の安定を見た足利義満は公家政権の吸収を意図しつつ、五山・十刹の制を設けて有力禅宗寺院の官寺としての位置づけを明確にした。応仁の乱後はこれらの寺院も衰退に向かったが、戦国大名の庇護の下、地方の禅宗寺院はさらに発展を続けた。このような状況は **A** 教が **A** 真宗を中心に民衆の間に広まっていったのとは対照的であったといえよう。

〔問〕

- 1 空欄 A に当てはまる語句は何か。漢字 2 字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 2 空欄 B に当てはまる語句は何か。1 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 善阿弥 イ 定朝 ウ 禅宗 エ 折衷 オ 安阿弥
- 3 下線 a について。法然の信仰は鎌倉時代前期の多くの人に受け入れられたが、一方でこれを批判する人たちもいて、その教えを広めるのは容易なことではなかった。法然の信仰と布教に関わる以下の記述のうち、正しいものはどれか。2 つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 法相宗の僧である貞慶は興福寺奏状を起草して法然の教えを厳しく批判した。
- イ 旧仏教による弾圧を受け、法然は越後に配流となり、のちに許されて関東に向かった。
- ウ 法然は、一つの寺院に長く居住して修行する方法を採らず、諸国を巡ったため、遊行上人とも呼ばれた。
- エ 法然は当初、天台宗寺院である知恩院で学んだが、後に本願寺で専修念仏の教えを広める決意を固めた。
- オ 法然は、九条兼実の求めに応じて『選択本願念仏集』を著し、これが教義の基礎となった。

- 4 下線 b について。鎌倉の寺院の中で、北条宗政の菩提を弔うために建立され、五山に列した寺院はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 円覚寺 イ 寿福寺 ウ 建長寺 エ 浄妙寺 オ 浄智寺
- 5 下線 c について。九条道家は承久の乱の後の政治に大きな足跡を残したが、彼に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 九条兼実の子で、親の意志を受け継ぎ、九条家を一条家に匹敵する摂関家の家とした。
- イ 承久の乱に際して、後鳥羽上皇の命令を受けて、幕府追討の文書を作成した。
- ウ 子の頼経は、源実朝の死後、鎌倉に迎えられ、将軍となった。
- エ 彼が執筆した『玉葉』によって承久の乱の状況を知ることができる。
- オ 子の良実は九条家から独立し、鷹司家の祖となった。
- 6 空欄 C に当てはまる寺院名を漢字 3 字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。
- 7 下線 d について。これらの制度に組み込まれず、自由な活動を行った禅宗の寺院、例えば曹洞宗の永平寺や総持寺、臨済宗の大徳寺や妙心寺などの寺院を一般に何と呼んだか。漢字 2 字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

〔IV〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

江戸時代後期の文化・文政期には都市を中心に町人文化が花開いたが、天保期になると凶作により全国的に米不足が深刻化して、人々の生活は苦しくなった。1832（天保3）年から翌年にかけて起きた天保飢饉で、収穫高は平年の半分以上となり、百姓一揆や打ちこわしが多発した。とくに1836年の飢饉はきびしく、甲斐国郡内地方では1万人に及ぶ百姓が、また三河国加茂郡では1万2000人を数える百姓が蜂起した。大坂では、大坂町奉行所の元与力だった大塩平八郎が1837年に立ち上がった。米不足に苦しむ窮状を見かねて、平八郎は幕政批判の挙に出たのである。

大塩平八郎の乱と同年、アメリカ商船モリソン号が砲撃される事件が起きる。以前からイギリスやアメリカの船が日本近海に現れて、薪水や食糧を求めることがしばしば起きていた。幕府は当初、薪水・食糧を渡して帰国させていたが、1825（文政8）年にこの方針を転換し、異国船打払令（Aとも言われる）により外国船の撃退を命じた。日本人漂流民の送還と日本との貿易開始を求めて来航したモリソン号は、相模の浦賀と薩摩の山川で、この異国船打払令を適用され攻撃されたのである。モリソン号事件の翌年、高野長英は『戌戌夢物語』を著し、知識人の討議という形をとって幕政を批判した。幕府は1839年、Bとして知られる洋学者弾圧事件において、高野長英や渡辺崋山^bをはじめとする蘭学者グループを逮捕した。

内憂外患に苦しむ中、幕府は1840年に武蔵川越藩松平家を出羽庄内へ、庄内藩酒井家を越後長岡へ、長岡藩牧野家を川越へ移すという、転封を命じた。これをCという。庄内藩領民がこれに反対して老中へ駕籠訴をするなどの運動を展開したため、幕府は翌年この命令を撤回せざるを得なかった。

そこで老中水野忠邦は、幕府権力の回復を目指して天保改革に着手した。彼は同年、江戸市中の物価高騰を抑制するため、株仲間解散令を発令した。また、奢侈禁令・倭約令を出し、華美な衣服や贅沢な菓子・料理などを禁じた。歌舞伎を興行していた江戸三座を浅草の猿若町に移転させ、町を歩く役者には編笠をかぶらせるなどの措置も講じている。ついで1843年には人返し^dの法を発令した。これは江戸に流入した貧民を帰郷させようとする政策だった。また同年には上知令^eを出している。

〔問〕

- 1 下線 a にみえる大塩平八郎の乱に関する記述として、正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 大塩平八郎は家塾古義堂で陽明学を教えていた。
- イ 大塩平八郎の乱は1ヶ月以上も続いた武装蜂起であった。
- ウ 大塩平八郎の乱に刺激されて越後で一揆を起こした生田万は国学者だった。
- エ 大塩平八郎の乱の様子は『夢の浮橋』に描かれている。
- オ 大塩平八郎の乱を受けて、佐倉惣五郎が藩主堀田氏の苛政を幕府へ直訴した。

- 2 空欄Aには漢字6字の語句が入る。記述解答用紙の解答欄に、その語句を記入しなさい。
- 3 下線bの渡辺崋山について述べたものとして、誤っている記述はどれか。1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 渡辺崋山は三河田原藩の家老だった。
- イ 渡辺崋山は鷹見泉石の肖像画を描いたことでも知られる。
- ウ 渡辺崋山は『慎機論』で、モリソン号事件にみえる幕府の攘夷策を批判した。
- エ 渡辺崋山は高野長英らとともに尚齒会に出席していた。
- オ 渡辺崋山は江戸で死刑に処せられた。
- 4 空欄Bには4字の語句が入る。記述解答用紙の解答欄に、その語句を記入しなさい。
- 5 空欄Cには漢字5字の語句が入る。記述解答用紙の解答欄に、その語句を記入しなさい。
- 6 下線cの株仲間解散令に関する記述で、正しいものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 株仲間が解散した結果、江戸には物資が大量に流れ込んだ。
- イ 解散を命じられたのは江戸の十組問屋だけである。
- ウ 幕府は株仲間が物価を不当につり上げていると考えていた。
- エ 諸藩では国産品売買に力を入れていたが、幕府は在方商人の自由な取引を認めなかった。
- オ 株仲間解散令は不評だったため、翌年撤回された。
- 7 下線dの人返しの法について、寛政改革の時にも、江戸に流入した没落農民の帰村や帰農を奨励する法令が出されていた。記述解答用紙の解答欄に、漢字5字の語句で記入しなさい。
- 8 下線eの上知令に関する記述で、誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 上知令によって、幕府は江戸・大坂周辺の土地を直轄地にしようとした。
- イ 八代将軍徳川吉宗も、享保改革のとき上知令を出している。
- ウ 上知令の目的は幕府財政を立て直し、対外的脅威に備えるところにあった。
- エ 代替地が用意されたものの、大名や旗本は上知令の実施に反対した。
- オ 結局、上知令は挫折し、水野忠邦は改革に失敗して失脚した。

〔V〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

1931年の満州事変から太平洋戦争に至るまでの道のりは、ひとつづきの戦争の時代として捉えることができる。これら一連の戦争の要因をさぐるとすれば、世界恐慌、そして中国における革命の進展、これらの与える脅威が強い経済圏構築への待望に繋がり、軍部の台頭をまねいたことにある。

国内に眼を転じると、この時代における日本の政治とは政党内閣が次第に軍部の圧力に屈していく時代でもあった。特に五・一五事件で倒れた犬養毅内閣の後継内閣は、衆議院における第一党党首が組閣するという1924年成立の加藤高明内閣以来の原則を適用すれば、第一党の立憲政友会による内閣が成立するはずであった。しかし軍部が政党内閣樹立に反対したことから、組閣の大命は海軍大将の斎藤実に降下し、ここに立憲政友会・立憲民政党を与党とする「A」内閣が誕生した。次いで1934年7月に成立したB内閣では天皇機関説事件が起こり、一部の政治家、国家主義者、在郷軍人会などが憲法学者の美濃部達吉に対し強い排撃運動を起こしたことから、内閣はC声明を発してこれらの圧力に屈せざるを得なかった。

こうした軍部の攻勢はさらに加速し、二・二六事件直後、成立した広田弘毅内閣は、組閣に際し陸軍の統制派によって未曾有の干渉を受けた。さらに盧溝橋事件が勃発すると、当時の第1次近衛内閣は当初、不拡大方針を声明したが、軍部の要求によって大規模な中国本土への派兵に踏み切った。これら軍部の動向に対し、議会の場で明確に意思表示したのは、1940年の議会で反軍演説を行ったDなど、わずかな事例にとどまった。これより先、中国では1936年12月のE事件を期に翌年、第二次国共合作が成立し、戦争は長期化の様相を呈しはじめた。

〔問〕

- 1 下線 a に関連する記述で正しいものは下記のうちのどれか。1つ選んでマーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 1924年、国民党と共産党との間に第一次国共合作が成立した。
- イ 1925年、北京の日本の在華紡工場でストライキが発生し、全国的な反帝国主義運動に発展して北伐の契機となった。
- ウ 1926年、国民党の孫文の率いる国民革命軍が広州を発して、北方の軍閥を打倒した。
- エ 1927年、上海でのクーデターに伴う国共分裂後、蒋介石によって広州に国民政府が樹立された。
- オ 1928年、奉天軍閥の張作霖が国民革命軍に帰順することで北伐が完了した。
- 2 下線 b の人物に関する記述で誤っているものは下記のうちのどれか。1つ選んでマーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 尾崎行雄らとともに立憲改進黨の創立に参画した。
- イ 第1次大隈内閣において尾崎行雄の後任として文部大臣を引き継いだ。
- ウ 立憲国民党の指導者として第1次護憲運動を推進し、第3次桂内閣を倒した。
- エ 東方会を通じて頭山満とともに、中国革命を支援した。
- オ 田中義一が死去した後、立憲政友会の総裁に就任した。
- 3 下線 c に関連する記述で誤っているものは下記のうちのどれか。1つ選んでマーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア 第2次護憲運動を通じて総選挙に圧勝した護憲三派が清浦奎吾内閣を倒して成立した。
- イ 立憲政友会が革新倶楽部を吸収したことで、閣内に不統一が生まれ、第2次加藤高明内閣は憲政会の単独内閣となった。
- ウ 外務大臣幣原喜重郎による協調外交をすすめ、シベリア出兵後の関係改善につとめた結果、日ソ基本条約を締結した。
- エ 治安維持法を制定し、「国体」の変革・私有財産制度の否認を目的とする結社の組織者・参加者に対し、10年以下の懲役・禁固を科した。
- オ 加藤高明首相が華族でない平民籍の衆議院議員だったことから、「平民宰相」と国民から歓迎された。
- 4 空欄 A に入る語句を漢字4字で記述解答用紙に記入しなさい。
- 5 空欄 B に入る人名を漢字4字で記述解答用紙に記入しなさい。
- 6 下線 d に関する記述で誤っているものは下記のうちのどれか。1つ選んでマーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。
- ア それまで天皇主権説と天皇機関説との間で行われた学説上の論争が政治問題化したところに特色があった。
- イ 貴族院にて菊池武夫が美濃部達吉の著書を取り上げ、天皇機関説を反国体的として批判した。
- ウ 陸軍は『国防の本義と其強化の提唱』（陸軍パンフレット）によって美濃部達吉の憲法学説を激しく攻撃した。
- エ 攻撃の対象となった美濃部達吉が貴族院議員を辞職することによって政治的決着がはかられた。
- オ 美濃部達吉の名著『憲法撮要』などが発禁処分となった。
- 7 空欄 C に入る語句を漢字4字で記述解答用紙に記入しなさい。
- 8 下線 e の陸軍大臣は下記のうちのどれか。1つ選んでマーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい
- ア 宇垣一成 イ 東条英機 ウ 永田鉄山 エ 荒木貞夫 オ 寺内寿一
- 9 空欄 D に入る人名を漢字4字で記述解答用紙に記入しなさい。
- 10 空欄 E に入る語句を漢字で記述解答用紙に記入しなさい。

〔VI〕 次の文を読んで、問に答えなさい。

江戸時代の文化を前期と後期に分け、前期を元禄文化、後期を化政文化と呼ぶことは今日まで定着した分類法である。
元禄文化は上方（京都・大坂）を、化政文化は江戸の地を中心として展開した。

^a しかしながら近年、江戸時代研究の進展にしたがい、260年間に及ぶ長い時代の文化を2つにのみ分けて考えることは、さまざまな問題点を生じさせることが、各方面から指摘されつつある。そこで、最近では江戸時代文化を3時期に

分けて考え直す分類法が提唱されている。つまり、従来は化政文化の先駆けとして位置づけられてきた18世紀後半、つまり年号でいえば宝暦ころから、**A**、安永、天明、寛政へと続く時代を、江戸時代中期文化として独自のピークを形成したものと捉えるのである。ちょうど老中の田沼意次が政治の実権を握っていた時代が含まれる。

上方ではこの時期、**B**が写生画と呼ばれる平明な画風で一世を風靡し、文人画では池大雅や与謝蕪村が活躍する。また伊藤若冲や曾我蕭白といった個性的な画風の作家たちも登場した。文学の方面では、読本の上田秋成も同じ時期の人で、上方はまさに百花繚乱の時代であった。

これに対して江戸の地では、庶民向けの浮世絵が花開いた。1760年代、錦絵と呼ばれる美しい多色刷版画を創始した**C**は、この時代を代表する浮世絵師である。これに続いて**D**が人気作家となり、江戸の浮世絵は全盛期を迎えた。蘭学を学んで西洋風の絵画を描いた小田野直武や司馬江漢が活躍するのもこの時代である。また文学では、遊里の風俗を題材とする洒落本や、コミカルな語り口で風刺をきかせた黄表紙^bなど、挿絵を主体とする読み物が流行を見せた。上方の成熟ぶりとは異なり、江戸はこれから文化的に飛躍しようとする若々しいエネルギーを感じさせる。そこには同じ江戸の文化といっても、のちの化政文化に見られる爛熟とは一線を画す時代性を見ることができる。

〔問〕

1 下線aについて。京都の呉服商の家に生まれ、大和絵の画法をもとに、「燕子花図屏風」や「紅白梅図屏風」など、デザイン感覚にすぐれた装飾画の傑作を生み出したのは次のうち誰か。1つ選んでマーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

ア 菱川師宣 イ 俵屋宗達 ウ 尾形光琳 エ 土佐光起 オ 本阿弥光悦

2 空欄Aに入る語句を漢字2字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

3 空欄Bについて。「雪松図屏風」や「保津川図屏風」を代表作とするこの人物は誰か。漢字4字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

4 空欄Cに入る人名を漢字4字で記述解答用紙の解答欄に記入しなさい。

5 空欄Dについて。下の図はこの浮世絵師の作品の一例である。「婦女人相十品」など美人画の大首絵を多数制作したこの人物は次のうち誰か。1つ選んでマーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

ア 喜多川歌麿 イ 英一蝶 ウ 東洲斎写楽 エ 歌川国芳 オ 葛飾北斎



6 下線bについて。次のうち黄表紙に分類されるものはどれか。2つ選んでマーク解答用紙の該当する記号をマークしなさい。

ア 『仮名手本忠臣蔵』 イ 『江戸生艶気樺焼』 ウ 『世間胸算用』
エ 『修紫田舎源氏』 オ 『金々先生栄花夢』

〔以下余白〕